

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)築橋商会西湘工場新築工事	階数	地上2F
建設地	神奈川県足柄上郡開成町みなみ5丁目3-1,3-2,3-3,3-4,3-8	構造	S造
用途地域	工場専用地域、防火指定なし	平均居住人員	90人
地域区分	5地域	年間使用時間	3,744時間/年
建物用途	工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2017年11月 予定	評価の実施日	2016年11月9日
敷地面積	7,006 m <sup>2</sup>	作成者	(株)フジター級建築士事務所
建築面積	2,788 m <sup>2</sup>	確認日	2016年11月9日
延床面積	5,189 m <sup>2</sup>	確認者	(株)フジター級建築士事務所



### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 1.0** ★★★★★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算  
①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

**Q 環境品質 Qのスコア = 3.0**

#### Q1 室内環境 Q1のスコア = 0.0

#### Q2 サービス性能 Q2のスコア = 3.7

#### Q3 室外環境(敷地内) Q3のスコア = 2.5

**LR 環境負荷低減性 LRのスコア = 3.0**

#### LR1 エネルギー LR1のスコア = 2.7

#### LR2 資源・マテリアル LR2のスコア = 3.3

#### LR3 敷地外環境 LR3のスコア = 3.0

3 設計上の配慮事項		その他
総合	敷地外周に緑を配置し、建物はシンプルな形状、必要最低限の開口とし周辺環境に配慮した計画としている。	-
Q1 室内環境	階高を高く設定し、壁長さ比率を小さくすることにより、空間にゆとりをもたせている。 補修必要間隔の長い外壁材、配管材を採用するなど、建物の耐用性・信頼性に配慮している。	Q3 室外環境(敷地内) 敷地や建物の植栽条件に応じた適切な緑地づくりを行っている。グリッドフェンスを採用し防犯性に配慮している。 緑地を設けることにより、良好な景観を形成している。
LR1 エネルギー	LED照明、Hf蛍光灯を採用し設備システムの効率化に配慮している。	LR3 敷地外環境 ライフサイクルCO <sub>2</sub> 排出率を99%とし、地球温暖化への配慮をしている。広告物照明を行わず周辺環境へ配慮している。必要量の駐輪場・駐車場を確保、搬入経路等を考慮し交通負荷の抑制に配慮している。
LR2 資源・マテリアル	自動水栓、擬音装置などの省水型機器を用いて、水資源を保護している。発泡断熱材を使用せず汚染物質含有材料の使用を回避している。フリーアクセスフロアを採用し、部材の再利用可能性向上への取り組みをしている。	

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■ 「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生涯の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■ 評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される